

中高生フォトグラファー応援マガジン

TopEye

boys & girls photo magazine

No.284

2015
12-1



At the heart of the image



「背負うモノ」木村 里穂
(群馬県立藤岡北高等学校 2年)



ガンバレ写真部!
自由なロケで鍛える、コミュカとカメラアイ!
和歌山県立神島高等学校
テーマ別に撮り方追求!
TopEye デジタル写真なるほど教室
第4回「イルミネーション」を幻想的に!!

視想講座 VOL.278
壁を越えたい時、「基本」が何よりの力
斎藤 勝則

FRIENDS' EYE
PhotoPhoto OB/OG訪問
大阪府立成城高等学校OG
中西 千佳 さん

INFORMATION
東京・品川にOPEN!
ニコンミュージアムに行こう!!!



「フォトフォトサロン」受賞作品(佳作以上)の鑑賞や誌面のダウンロードができます。ぜひご覧ください!

検索

Nikon College
ニコンカレッジ

顧問の先生・部員の皆さんで
ぜひ、回覧してください!

Photo 2015年度 vol.3 177th Photo SALON



審査員 小林紀晴
1968年長野県生まれ。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞、2013年「写真展「遠くから来た舟」」で第22回 林忠彦賞受賞。雑誌、広告、TVCF、小説執筆などポーダレスに活動中。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。

被写体に、自分を照射させよう

TopEye賞には、木村里穂さんの「背負うモノ」を選ばせていただきました。シンプルです。青空と夕暮れ時。ふたつの光を背景に、人のかたちが浮かんでいます。極端に情報が少ないからこそ、逆に多くのことを想像させます。果たして誰なのか、どこなのか、いつなのか…。そしてタイトルの「背負うモノ」のモノとはいったい何をさしているのか。わかることと、わからないことがせめぎあっています。作品を作り上げるとき、けっして過度に説明をする必要はありません。それより、自らの思い、感情、感覚といったものを被写体にぶつけて、反射させるべきだと思います。この作品はその跳ね返りのバランスが見事にとれています。全体では「青春」を感じさせる作品が目立ちました。多くの方がそのまっただ中にあるからこそ、是非、「いまの自分を取りまくもの」に果敢にカメラを向けていってください。

表紙に大きく載ってるよ!!

TopEye賞

賞品
・ニコンデジタル一眼レフカメラ D3300レンズキット
・賞状

「背負うモノ」木村 里穂

群馬県立藤岡北高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ
- 55-250mm
- Aオート (f/5.6) (2枚とも)
- ISO100 (2枚とも)

おそらく野球部の練習風景でしょう。それ以上の詳しいことはわかりません。フレームがかなり切り詰められ、人物が黒くつぶれているからです。相当の情報の少なさです。それらはきっと、かなり意識してのことでしょう。よい意味で緊張感につながっています。背景の空の色も対照的で、二枚が並ぶと色彩的にもとてもきれいです。それでいて、シルエットが多々のことを語りかけてきます。いたずらに枚数を増やさずに二枚に絞ったことが成功しました。



第177回 TopEye賞受賞

木村 里穂さん
受賞のコトバをどうぞ!!



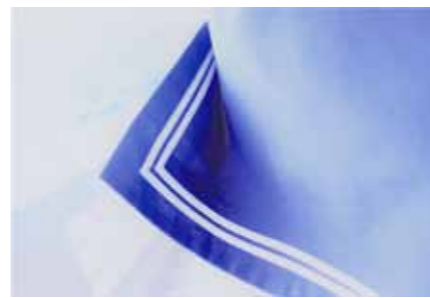
トップアイ賞をいただきとても光栄に思います。この作品のモデルは私が被写体として追い続けている野球部員達です。私は暑い日も寒い日も部活動に打ち込みがばっている彼らを応援したくて、日々野球場に足を運んでいます。これからも顧問の先生に支えていただきながら、他の部員と共に誰かを応援できる写真を撮り続けていきたいです。このたびは、私の作品を選んでくださりありがとうございます。

「Navy Sentimental」竹本 希

香川県立坂出高等学校 3年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm
- A オート (f/4.5, 5.7, 5.6)
- ISO200, 1600, 640

セーラー服の青がとて印象的な作品です。コメントには「青春」という言葉が書かれていましたが、まさに「青春」が見事に、大胆な構図によって切り取られています。「青春」とは限られた年齢、世代をさす場合が多いものですが、この作品は違う世代（たとえば私のような中年）が目にして、ホロっとする普遍的なものを感じさせます。



「夢と現実」前迫 あかり

島根県立大田高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm ●P オート ●ISO800

ちょっと不思議な写真です。スナップ写真でもポートレートでもありません。物撮りということになるのですが、正確にはそれとも少し趣が違います。セッティングして撮ったはずですが、果たしてこの美少年は誰? 左下の風景写真的なものは何? と疑問が湧いてきます。わからないけど、ぐっときます。だから素敵です!

入選

賞品
・ニコンオリジナルバッグ
・賞状

「ふたり」大石 弥生

熊本県・八代白百合学園高等学校 1年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-135mm ●Aオート (f/3.5) ●ISO800

美しい!の一言に尽きます。人生にはさまざまな時期がありますが、間違いなく思春期は人生の美しい季節です。その中にある者たちがそれに気がついていないからこそ、とも思います。ガラス細工のように薄く、繊細で、それでいて鋭く、だから壊れてしまいそうな儚さに満ちています。そんなふうによく感じさせる一枚でした。



「手紙」梶川 玲奈

宮城県白石工業高等学校 1年

- デジタル一眼レフカメラ
- 50mm ●Aオート (f/8) (2枚とも)
- ISO100 (2枚とも)

まずは場所が素敵です。こんなにフォトジェニックなところ、なかなかあるものではありません。二枚組ですが、横に並べるとつながって一枚写真にも見えてきました。ラブレターでも渡しているの? という感じですが、実は鼻水がでた友人に、ティッシュを渡しているとのこと。現実なんてそんなものです(笑)。



「虚光のソナタ」中村 彩乃

山口県立下松高等学校 1年

- D40X ●AF-S DX18-55mm
- Pオート ●ISO1600

コメントにはピアノの演奏中で「スポットライトの影がスクリーンに当たっている様子」とありました。つまり、実際の影が別のものに反射したところを捉えています。その方法により、現実との差異が生まれました。どこか遠い日、幼い頃の記憶を目にしているように感じられるのは、そのためでしょう。

準TopEye賞

- 賞品
・ニコンデジタルコンパクトカメラ
・賞状

「Ayano」服部 朱理

愛知県立津島東高等学校 1年

- D3300 ●AF-S DX18-55mm
- M(1/200 秒・f/5.6) ●ISO800

オーソドックスなポートレートです。ですが、それだけで終わっていません。動きがあります。光もよく見えています。身体を窓の方に向けたまま、上半身と顔だけをカメラ側に開いたことにより、動きとリズムができました。さらに背景の処理も絶妙です。コメントには被写体と「しっかり向き合った」という言葉がありましたが、まさにその行為により、撮影される側、する側にとっての大切な一枚になりました。





「夏色少女」佐和田 星

沖縄県立浦添工業高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm ●M(1/200秒・f/6.3) ●ISO100



「百花繚乱」南雲 冴香

新潟県立六日町高等学校 1年
●D5200 ●AF-S DX18-55mm
●Pオート ●ISO250



「素滴。」田中 美沙樹

埼玉栄高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●60mm ●Aオート (f/2.8、2.8、4、3.5)
●ISO400 (4枚とも)



「blue」岩田 悠子

岐阜県立岐阜総合学園高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ
●24-105mm ●M(1/1250秒・f/8)
●ISO250



「空高く」村上 夏鈴

静岡県立伊東高等学校 1年
●デジタル一眼カメラ
●17mm ●M(1/800秒・f/2.8) ●ISO160



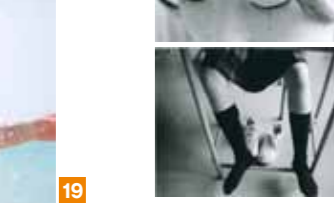
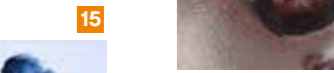
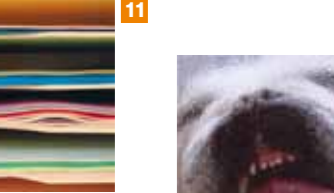
「本当の私は？」下川 真由

愛知県立小牧南高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm ●M(1/200秒・f/4) ●ISO1600



「ドキュメント」錦織 由奈

島根県立安来高等学校 3年
●D5000 ●AF-S DX18-55mm ●Pオート (3枚とも) ●ISO400(3枚とも)



佳作

賞品

・オリジナルポーチ
・賞状

準佳作

賞品・賞状

- 1 「現実逃避」猪股美咲 宮城県白石高等学校 2年
- 2 「狐憑き」小山公輝 神奈川県立瀬谷高等学校 2年
- 3 「旅立ち」安部龍正 広島県立庄原格致高等学校 2年
- 4 「じいちゃん元気かな」中島楓 新潟県立六日町高等学校 1年
- 5 「少女」加森春香 和歌山県立神島高等学校 1年
- 6 「哀愁」濱田真由美 熊本県・八代白百合学園高等学校 2年
- 7 「移りゆく生命」久志佳輝 沖縄県立浦添工業高等学校 1年
- 8 「嫉妬(ジェラシー)」原優夏 島根県立松江南高等学校 2年
- 9 「桜」佐藤愛華 静岡県立伊東高等学校 2年
- 10 「岩清水」伊藤大河 富山県・高岡第一高等学校 1年

- 11 「好きな色は何？」半澤佳奈美 宮城県白石工業高等学校 3年
- 12 「最強のキスガオ」三木 暁 群馬県立藤岡北高等学校 3年
- 13 「あの夏から」永村耕哉 新潟県・中越高等学校 3年
- 14 「生涯をかけて」金子香穂 山口県立下松高等学校 2年
- 15 「魅惑」井上玲奈 香川県立坂出商業高等学校 2年
- 16 「素」鈴木裕乃 埼玉県栄高等学校 1年
- 17 「fall in girl」森岡莉子 愛知県立津島東高等学校 1年
- 18 「午後の想い」宅和季咲 島根県立大田高等学校 2年
- 19 「魔法にかかって」手島由梨 島根県・出雲北陵高等学校 1年

受賞ポイント

- TopEye賞 100ポイント
- 入選 (5作品、うち組写真最大2作品) 40ポイント
- 準TopEye賞 70ポイント
- 佳作 (10作品、うち組写真最大3作品) 20ポイント
- 準佳作 (20作品) 7ポイント

※全4回に出品された学校には、さらに【皆勤校ポイント 20ポイント】を加算!

裏表紙で各校の獲得ポイント発表!

ガンバレ写真部!!

昨年度あたりから「フォトフォトサロン」の入賞回数がグンと増えた、まさに「ブレイク」という言葉がぴったりな写真部があります。それが今回の和歌山県立神島高等学校写真部! ほうぼうのコンテストでも実績を伸ばしている様子で、これは秘訣などあればひうかがいたい...と、行ってきました紀伊半島!!

和歌山県立神島高等学校



(最後列左から) 山本紗代さん、東さん、三浦さん、顧問の恵納先生、鈴木さん
(3列目左から) 出崎さん、二貝さん、垣城さん
(2列目左から) 中野さん、古久保さん、加森さん、宇井さん、小川さん
(最前列左から) 川井さん、山本恵梨夏さん、パウラさん、池永さん、岡畑さん



屋上からの海の眺めがきれい!

部員: 19名(1年10名、2年6名、3年3名)
活動: 活動日は火、木。もっと上達したい部員は金曜も!
機材: デジタル一眼レフカメラ約10台、プリンターは5台。
部費: 学期ごとに1人1,000円。他に学校から年約5万円+文化祭の補助など。当然足りないので、顧問の先生も補助。プリントする作品の基準を厳しくするなどして、用紙やインク代を節約!!

特にこの数年スゴイ!

神島高等学校写真部の主な実績

- ◎フォトフォトサロン
 - ・TopEye賞2回、準TopEye賞2回、佳作1回、準佳作多数!
 - ・2014年度 優秀賞!
 - ・全国高校生写真サミット2015 チーム優秀賞、個人優秀賞!
- ◎全国高総文祭 2013~15年度 連続出場
- ◎近畿高総文祭 2012~15年度 連続出場
- 2015年度
 - ・全日本写真展 高校の部 銅賞
 - ・上野彦馬賞 高校生・中学生部門 スポーツニッポン賞
 - ・写真甲子園 3位
- 2014年度
 - ・全日本写真展 高校の部 銅賞
 - ・よみうり写真大賞 高校生部門 大賞
 - ・上野彦馬賞 高校生・中学生部門 毎日新聞社賞

近所の子供たちの「変なポーズ」にひかれます(笑)

今年の1年はしっかりして、助けられっぱなしです!

ほんわか自由な癒し系 副部長の鈴木さん

まじめで賢いしっかり者! 部長の二貝さん

10月号見てね!

取材の際に第176回TopEye賞のミニ表彰式も行いました!!

他校との交流も楽しい!

福井県立丹生高の写真展におじゃま!

香川県立坂出商業のみんなと合宿も!

部室は特になし。情報処理教室が集合場所!

近く海も格好のロケ場所です

熊野古道の街なので、神社もたくさん。

実力のヒミツは「行きあたりバッタリロケ」!?

訪問して意外だったのが「みっちりやる」感のなさ。先生の指導は「最初に設定や構図を1~2日教えるくらい。活動の強制もしてません」いやホントにそれだけでいいですか?と突っ込むと、「良い被写体を見つけるカンは育てたい。ロケ(校外撮影)はたくさんやりますね」でも、祭やイベントなどの撮影スポットに行くのはまだとか。数人の部員さんと車で「その辺の道ばた」に行き、「撮っといで〜」とリリース。つまり、被写体はお膳立てするんじゃなく、自分の目と足で自由に探すのだ! 「知らない人に「写真撮らせてください!」と言う回数は日本一だと思います」やっとなポイントがうかがえてホッ(笑)。

3年生は「フォトフォトサロン」上位入賞トリオだ!!

変わった先生 部員さんの声 面白い 内面を見抜いてくる

人と話すの苦手だったけど、写真部でコミュ力がついたかな。 東美緒さん

物評イロイロでとにかくタダモノではない? 顧問の恵納先生!

ちっちゃな子からベテラン漁師さんまで、自然な表情を撮りかけます。 三浦 菜々恵さん

第176回&172回TopEye賞!

第174回準TopEye賞!

第175回準TopEye賞!



そりゃあ、人好きにもなりますって!

ロケ漬けのせいもあってか、部員さんに「写真を撮る楽しさ」を聞いてみたら、「いろんな人と出会って話せるのが楽しい!」がダントツ。ということは、部員どうしも仲がいいはずだね! 「おいしいもの食べに行ったりもしますよ。もちろんカメラも持って行って撮影も!」先輩が後輩に、じかに教えることは少ないそうですが、「先生に基本を教わり、先輩の実例を見て学んでいます」とは、ある1年部員さんの一言。うーむ、頼もしい。コミュカをベースに、放任主義がうま〜く回ってる感じです。

カッコいい人を撮りたい! 「イケメンの意味じゃなく、人間的に(笑)」

撮ってまわるうち、他の部活の人達ともたくさん仲良くなりました!

いろんな人の素の顔や、魅力的な一瞬を切り取りたい。

影の形や絵の具、建物のスキマ、障子の破れ目... 等々をキレイに撮りたい!

山本恵梨夏さん撮影

大阪なんかに行って、街や人の暮らしを撮るのが楽しいです♡

子供が大人ひて見える一瞬とか、「意外な面」を捉えたい!

池永さん撮影

植物とかスポーツとか、「形の面白さ」にピンカンです。

宇井さん撮影

オーストラリアから留学中!

人の笑顔とか、キメの瞬間がバッチリ撮れたら感動!

川井さん撮影

パウラさん撮影

自由なロケで鍛える、コミュカとカメラアイ!

毎日ご飯を、きれいに盛りつけて撮影するの大好き!

2学期に入部して! 人を撮るのが楽しそうでした。

中野さん撮影

いろんな人と知り合って、話せるから楽しいですっ。

いつも見ているのと違った視点で撮りたいですね。

出崎さん撮影

古久保さん撮影

IT駆使して写真力を底上げ!

実力磨きに、SNSも活用しているとか。先生引率のロケ参加者は、SNSを使って「早いもん勝ち」で募集。また、部員さんのコンテスト出品作品や、おすすめの写真家の作品やアート作品、広告など、学べそうなものは全部SNSでシェア! 「技術はまだまだなので、良い作品を共有して見る目を養い、撮り方のヒントも吸収して“平均点”を上げていきたい」と先生、なにげに細かいフォロー、さすがですね。というわけで、大注目の写真部の「ワザの磨き方」公開しちゃいました! 全国の皆様、ご活用ください(笑)。

高文連から

全国・近畿の2つの高総文祭を目標に

和歌山県高等学校写真部会代表理事 恵納 崇

和歌山県高文連写真部会は、全国高総文祭の代表を決める県総合文化祭と、近畿高総文祭の代表を決めるコンテストを二つの柱に活動を行っています。昨今のデジタルカメラの普及で、写真部員、出品作品点数は増加傾向にあり、作品の質も上がっているように思います。コンテスト以外にも、全日本写真連盟や専門学校の協力をいただいて撮影会等を行っています。写真という活動を通して、高校生の成長のサポートをしていきたいと考えています。

「ガンバレ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集!! 編集部が学校に行って取材します。

ご応募は、同封のアンケート用紙を使うか、裏表紙の宛先へ!

テーマ別に撮り方追求!

TopEye デジタル写真教室

なるほど

登場人物

サッチャン 斉藤先生 エイ太くん

この季節、街に行くと美しいイルミネーションがたくさんで、撮影意欲をそそるね。今回はただ撮るだけではなく、ちょっとした手法を使って幻想的な絵づくりをやってみよう!

今月のテーマは...

「イルミネーション」を幻想的に!!

この写真、光がきれいにボケているけど、ライトの光源や背景もしっかりシャープに見える。肉眼ではこんな風には見えないね。実は、「2枚の写真」を1つに合成した写真なのだ。

作例



シャッターを切る前に...

「点光源」が密集した場所を探す!

LED 電球のように小さな光源がたくさんある方が、ボカした光との差が際立って作品の効果が増す。ベストロケーションを探してみよう。

「三脚」でカメラのズレや手ブレを防ぐ!

ボカした光と点光源がほんの少しずれても、作品の面白みが薄れてしまう。三脚でカメラをしっかり固定させて撮影しよう。

ホワイトバランスは「白色蛍光灯」がおすすめ!

イルミネーションの色を美しく出すために、ホワイトバランスも使おう。おすすめは「白色蛍光灯」だけど、いろいろ試しても面白いかも。

撮影のコツ



写真1

フォーカスは「M(マニュアル)」にして自分で調整! レンズの「フォーカスモードスイッチ」をA(オート)からM(マニュアル)に切り替え、ピントリングを回してボケの大きさを調整しよう。ボケの輪郭はあまり大きくしない方がキレイだよ。

絞りは「開放」、ズームは「望遠側」!

絞りを大きく(=「絞り値(F 値)」を小さく)するほど被写界深度が浅くなり、ボケがきれいに広がる。ズームレンズは「望遠側」(焦点距離の数字が大きい方)がボケやすい。

[撮影データ] ●使用カメラ: D810 ●使用レンズ: AF-S 24-70mm ●焦点距離: 55mm ●ISO: 200 ●露出モード: A オート (1/2.8・1/40 秒) ●ホワイトバランス: 白色蛍光灯

絞りは開放

写真2



ピントはしっかり合わせる!

この写真は、光源にしっかりピントを合わせたい。フォーカスモードをオート(A)に戻すのを忘れずに!

絞りは小さく!

写真1とは逆になるべく絞りを小さくして、全体的にフォーカスが合ったシャープな写真にしよう。その際、シャッタースピードはかなり遅くなるので注意。

[撮影データ] ●使用カメラ: D810 ●使用レンズ: AF-S 24-70mm ●焦点距離: 55mm ●ISO: 200 ●露出モード: A オート (1/11・1/2 秒) ●ホワイトバランス: 白色蛍光灯

絞りは小さく

2枚の写真は、まったく同じカメラ位置で撮る!



合成はパソコンでもOK! また、RAW画像で撮影→合成できる機種も。

カメラに多重露出機能がない場合、同様に2種類の写真を撮影して、パソコンの画像処理ソフトで合成処理ができる。また、ニコンのカメラで「RAW 現像」「画像合成」機能がある機種なら、RAW 画像で撮影して合成し、JPEG 画像にすることもできるよ!

その秘密は... 「多重露出」だ!

「多重露出」という機能を使って、同じ場所で撮り方を変えた2枚の写真を1枚に合成したのが上の写真。最近の一眼レフカメラの多くにはついている機能だよ! ※



※多重露出の機能がないカメラもあります。



写真1

ピントをわざとズラしてボカシの効果を出して撮影



写真2

ピントをしっかり合わせ、ライトの「点光源」がシャープに見えるよう撮影



自動合成!!

デジタル一眼レフカメラって、こんなこともできるんだ!



さらなるスゴ技!



「露光間ズーム」にチャレンジ!!

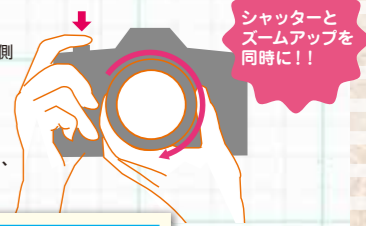
これは、「1 ボカした写真」と「2 ピントを合わせて「シャッターと同時にズミングした」写真」を合成した。2の撮り方は「露光間ズーム」という手法だ。光が放射状にブレて、迫力の効果!

【露光間ズームの方法】

シャッターが開いている間にズミング(ワイド側→テレ側にズームリングを回す)して撮影。

【コツ】

★シャッタースピードは遅く設定してね!
★シャッターが閉じる直前にズームリングを少し止めると、光の芯がうまく残るよ!



シャッターとズームアップを同時に!!

うわ、何だか不思議! イルミネーションっていろんな効果が出せるのね!!

多重露出と露光間ズームは、いろんなシーンで試してみると面白いよ。次回は、料理やお菓子などをおいそうに撮る「テーブルフォト」に挑戦! お楽しみに!!

[撮影データ] (写真1) ●使用カメラ: D810 ●使用レンズ: AF-S 24-70mm ●焦点距離: 24mm ●ISO: 100 ●露出モード: A オート (1/2.8・1/3 秒) ●ホワイトバランス: 白色蛍光灯 (写真2) ●使用カメラ: D810 ●使用レンズ: AF-S 24-70mm ●焦点距離: 24~70mm ●ISO: 100 ●露出モード: A オート (1/11・2 秒) ●ホワイトバランス: 白色蛍光灯

講師/斉藤 勝則





高校の頃は、ギターや模型作りなど好きなことがたくさんで、写真は3番目くらいだったかな(笑)。でもカメラのカッコよさには惹かれていましたね。父のカメラを借りて、カメラ店の撮影会に参加したり。大学時代にバイトを頑張り、やっと自分の一眼レフを購入しました。

卒業後は企業に就職し、ダムや水門の設計技師になりました。写真は趣味で続け、うまく撮れたらフォトライブラリーに預けたりしました。プロにはなれないと思ってはいたけれど、たまに作品が売れるとやっぱり嬉しかったですね。

そんな頃、三好和義さんのモデルイブの写真集を観て美しさに感動し、一生の思い出にと旅行。100以上の島それぞれに景色が全く違うのが魅力的で、すっかりハマりました。今でも毎年撮影に行きます。

会社では管理職になりましたが、ものづくりできないのが辛く、思い切って退職。その頃、フォトライブラリーの顧問だった写真家の内田隆章先生に相談したのが転機になりました。ちょうどデジタルカメラの出始めでね。私は設計でコンピュータも

扱っていたので、デジタル写真の基本も理解できた。それで、内田先生のアシスタントになり、改めて写真の修業をしました。不利な条件でもしっかり結果を出す「プロ」の凄さも思い知りましたね。

中高生の皆さんの写真、私たちの頃と比べてすごく上手だと思います。感性の豊かさを感じるし、たくさん撮れるデジタルの利点もあるでしょう。ただ、機能や技巧を追う余り、撮り方が雑になっているのでは?と感じる面もあります。

私が考える「いい写真」は、『カメラの存在を感じさせない』写真。肉眼で見たままの空気感を、いかに伝えるか。そのために大切なのは特殊な技法ではなく、やはり『基本』なんです。たとえば絞りの設定や光の位置。うまい人や賞を獲れる人は、結局『基本』がしっかりしているんです。

もちろん写真は楽しんでほしいし、自分のやり方を追求するのもいい。でも思い通りに撮れなかったり、もう一歩上達したいと思ったら、『基本』をしっかり実践しましょう。プロになるにせよ、趣味にせよ、それが一生の財産になるはずですよ。

斎藤 勝則

Profile

(さいとう かつのり)
 神奈川県生まれ、東海大学工学部生産機械工学科卒業。大手造船機械メーカーのチーフ設計エンジニアを経て、写真家・内田隆章氏に師事してカメラマンに転身。1996年フォト・デザイン会社ケー・エス・ワン設立。撮影分野は、ジャンルなしのオールラウンド、ネットを含む広告やカメラ雑誌等で活動。静止画だけでなく動画撮影も行う。現在、TopEye「デジタル写真なるほど教室」およびニコンカレッジの講師担当、日本写真家協会(JPS)会員。



FRIENDS' EYE

読者の皆さんと編集部が一緒につくる、情報コーナー。皆さんの情報提供も待ってるよ!

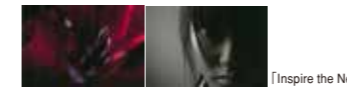
元気な先輩に出会いたい!

PhotoPhoto OB/OG訪問!



SENPAI-file.14

中西 千佳さん (旧姓:長渡さん)
 「Inspire the Next」で第161回フォトサロンTopEye賞受賞 大阪府立成城高等学校OG
 高校で「芸術」としての写真を知り、写真に自信をもたらしたという中西さん、現在は新婚さん。もうすぐ始まる子育ての日々も写真に残したい!とはりきっています。



もうすぐお母さん。今後の暮らしもたくさん写真に!

「出直し」で入った写真部に熱中!

中学の頃はアニメやイラストが好きで、何となく芸術にも関心があった感じです。写真を始めたのは、実は高二から。それまでの部活に余りなじみず、もっと充実させたくて。その頃、写真芸術部が全国大会に行ったというので、ここなら...と入部しました。顧問の先生は、教員になったのも、写真を始めたのも遅かったという方で、「君らはまだ若いんやから!」と話してくださることがすごく励みになりました。

受賞で、自分の存在が認められた気持ち

とにかく撮るのが楽しく、毎日千枚近く撮っていました。その中に一枚、先生が「すごい」と認めてくれた写真がきっかけで全国大会の出場メンバーになり、優勝。その時はほとんど先輩の力でしたが、その後TopEye賞など受賞が続きました。TopEye賞って「どんなのが選ばれるかわからない」と有名だったんですよ(笑)。そこで私なりに受賞作を研究し、いろんな撮り方で攻めた末、それまでにない作風で受賞できたので、自分の存在が認められた気持ちが出て、すごく自信になりました。

子育てでもコンテストも頑張りたい

進学した日本大学芸術学部は、諸事情で中退せざるを得ませんでした。その後半年間、東京でしか撮れない写真をたくさん撮って大阪に戻りました。写真はずっと続けるつもりだし、時々母校を訪ねて先生のご指導を受けながら、コンテストにも挑戦しています。今年、縁あって結婚し、来年春に子供が産まれる予定。しばらくは母親業中心と考えながら、自分のマタニティフォトを撮っています。成長過程もたくさん残し、いつか1冊のアルバムを作りたいです。

考えながらたくさん撮り、たくさん観よう

このOB/OGの記事、高校時代は余り読まなかったんですが(笑)、今読むと興味深いし、感覚だけじゃなく知識も大事とか、写真の道以外にも素敵な将来があるなど、勉強になります。写真を頑張りなれば、たくさん撮り、鑑賞することが大事。質をどう上げるかを常に考えながらね。今、目の前にある目標を精一杯頑張ってください。



今もいろんな写真を撮って、賞を狙っています。

第63回ニッコールフォトコンテスト「U-31」部門 おめでとう トップアイ仲間も続々入賞!

由緒あるニッコールフォトコンテストの「若者限定」U-31 (Under31)部門。TopEye賞受賞のノミネート作品をはじめ、フォトサロン入賞者の直接応募作品も、続々入賞!!!若い才能がどんどん羽ばたいています。

審査員・小林紀晴先生から

今年は高校生の応募がやや少なく、残念。大人に比べて行動範囲など制約はあるでしょうが、それを逆にとり、身近な被写体でドキリとさせてほしい。上位入賞の力がある高校生もたくさんいます。がんばろう!



年明けに、入賞作品展を開催!! 見に来てね!

「U-31」部門はTopEye賞からのノミネートのほか、直接応募も大歓迎!来年度はキミも挑戦してみない? 1/5 ~ 1/18 ニコンサロン bis 新宿 2/11 ~ 2/24 ニコンサロン bis 大阪

2014年度TopEye賞受賞者 全員入賞!!

「能動的4分間」大田 綾花さん (大阪府立成城高等学校/第171回 TopEye賞) 入選	「桜島大噴火」入選 宮里 明衣さん (沖縄県立浦添工業高等学校/第173回 TopEye賞)
「フルサイド」山本 紗代さん (和歌山県立神島高等学校/第172回 TopEye賞) 入選	「パビヨンズ クイーン」近藤 涼夏さん (山口県立下松高等学校/第174回 TopEye賞) 入選

直接応募で受賞!!

「世界の現状を、写真で伝えたい!」 準特選 鈴木 芯さん (福井県立丹生高等学校/第175回佳作) 日本大学芸術学部写真学科に在学中!	「来年はもっと上を狙います」 準特選 山田 凌さん (香川県立坂出高等学校 OB/第172回、174回入選) 日本大学芸術学部写真学科に在学中!	「写真館を開くのが夢です」 入選 樋田 雄介さん (大阪府立東百舌鳥高等学校 OB/第172回佳作) 日本大学芸術学部写真学科に在学中!
---	--	--

高文連 大会レポート!!

平成27年 高文連写真専門部 撮影技術大会 島根県高文連

9/11~12
 会場: 県立青少年の家サンレイク (出雲市)
 講師: 内藤 明先生、勝倉峻太先生 ほか

生徒169名参加、講師は東京工芸大学芸術学部写真学科から5名の先生方。国宝の松江城や出雲大社周辺の撮影会に、有名写真家の人物写真をマネしてそのワザを習得するワークショップ!ヒントが詰まった2日間でした!



「ケトルキ・ネイコフ」の作品を参考に...

愛知県立津島東高等学校 写真部展

2014年10月号 カンパシキ委員にも登場

1校でダブル写真展!

フォトサロン常連校の津島東写真部が、この冬に2度も写真展を開催!地元へ根ざす眼差しと受賞多数の写真力で、街の魅力を再発見、近隣県(プラス全国)の方々、ぜひ!

Part 1 入賞作や、市の夢まちづくり企画「つしま HAPPY 写真館」作品展示! 12/20~1/10 at 津島市観光交流センター 10:00~17:00 (毎月曜と12/29~1/3 休館)

Part 2 すべて津島で撮影した作品、地元へこだわった写真展! 2/1~2/29 at みゆきカメラ本店ギャラリー 9:00~19:00 (毎月曜休館)

お問い合わせは:愛知県立津島東高等学校 (TEL.0567-24-6001) 写真部顧問 森岡先生まで。

成績中間発表!!

2015年度 Photo Photo SALON

1位	和歌山県立神島高等学校	198ポイント
2位	宮城県白石工業高等学校	154ポイント
3位	群馬県立藤岡北高等学校	134ポイント
4位	愛知県立津島東高等学校	131ポイント
5位	熊本県・八代白百合学園高等学校	128ポイント
6位	香川県立坂出高等学校	121ポイント
7位	新潟県立六日町高等学校/島根県立松江南高等学校	94ポイント
9位	島根県立大田高等学校/沖縄県立浦添工業高等学校	74ポイント
11位	兵庫県立太子高等学校	70ポイント
12位	山口県立下松高等学校	67ポイント
13位	埼玉栄高等学校	61ポイント
14位	宮城県白石高等学校/静岡県立伊東高等学校	47ポイント

※今回、14位に同ポイントで3校が入りましたが、過去の出場回数の少ない高校を優先し、出場校を2校に絞らせていただきました。

TopEye全国高校生写真サミット2016
15校 出場決定! おめでとう!

- ▶14位(47ポイント)大阪府立生野高等学校 ▶17位(41ポイント)神奈川県立瀬谷高等学校
- ▶18位(40ポイント)新潟県立十日町総合高等学校 ▶19位(34ポイント)新潟県・中越高等学校
- ▶島根県立安来高等学校/香川県立坂出商業高等学校 ▶22位(27ポイント)北海道札幌工業高等学校/富山県・高岡第一高等学校/福井県立丹生高等学校/大阪府立成城高等学校
- ▶島根県・出雲北陵高等学校/香川県立観音寺第一高等学校 ▶28位(20ポイント)埼玉県立皆野高等学校/東京都・正則高等学校/東京都・東亜学園高等学校/愛知県立小牧南高等学校
- ▶岐阜県立岐阜総合学園高等学校/奈良県立王寺工業高等学校/長崎県・聖和女子学院高等学校/宮崎県立高鍋高等学校 ▶36位(14ポイント)東京都立小石川中等教育学校 ▶37位(7ポイント)茨城県立緑岡高等学校/千葉県立四街道高等学校/東京工業大学附属科学技術高等学校/静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校/愛知県・東邦高等学校/広島県立広島商業高等学校/広島県立庄原格致高等学校/山口県立華陵高等学校/山口県立新南陽高等学校

入賞作品は1~4ページに掲載

次回! いよいよ年度賞決定!!
1月10日(日) 当日消印有効 です!!
詳しくは同封の応募用紙を見てね!

2月横浜で!

TopEye全国高校生写真サミット2016
2016年2月5日(金)~2月7日(日)

今年度も「フォトフォトサロン」成績上位15校が集結!!横浜を舞台に写真の腕を競い、交流を楽しむ3日間。各校の作品発表と写真家の講演会は一般公開されます。遊びに来てね!

作品発表、写真家の講演会は一般公開

講師
小林紀晴 先生
佐藤倫子 先生
藤村大介 先生
若子jet 先生
安珠 先生



横浜の街で撮影会!

開催の様子はFacebookで続々発信

公式 facebook も CHECK!



www.facebook.com/nikon.topeye.summit

※写真は「TopEye全国高校生写真サミット2015」の画面です。

NIKON MUSEUM



東京・品川にOPEN!
ニココミュージアムに行ってみよう!

2017年に迎えるニコン創立100周年を記念したミュージアムが誕生。試作機を含めたニコン歴代カメラなど、ここでしか見られない展示がたくさん。ぜひ見に来てね!

- ◎ニコンの歴代カメラ約450点を展示
- ◎レンズのしくみをミニ実験で体験
- ◎展示やミニシアターも充実
- ◎ニコングッズが買えるミュージアムショップ



所在地: 東京都港区港南2-15-3品川インターシティC棟2F
アクセス: JR品川駅 港南口から徒歩約7分/京急品川駅から徒歩約10分
開館時間: 10時~18時(最終入館は17時30分まで)
休館日: 日曜日、祝日、および当館の定める日
入館料: 無料
お問い合わせ: TEL 03-6433-3900/FAX 03-6433-3901



元・フォトフォトサロン審査員
大西みつぐ先生の
新写真集 発売中!!

長年、東京下町を撮り続ける大西先生ならではの写真集。商店街から伝統文化まで、下町の魅力がいっぱいです。

『昭和町カメラノート』
1,300円+税(株)日本写真企画刊

TopEye アンケート特別プレゼント

この写真集を、今号 TopEye アンケートにご回答いただいた学校の中から抽選で5校に進呈します!

今回のご回答期限 1月10日までに FAXでお送りください。

FAX:03-5148-0566

また、ご協力いただいた学校にもれなく TopEye がファイルできる「オリジナルバインダー」を進呈。

写真展・活動レポートお待ちしてます!

TopEyeでは、全国の中高写真部の活動をドンドン紹介する予定。写真展や撮影会、面白い活動など、編集部までレポートください!

投稿の際には忘れずに!

- ①学校名・クラブ名
- ②顧問名と部長名
- ③学校の住所・電話番号
- ④連絡可能なメールアドレス

宛先

〒104-0045 東京都中央区築地 4-3-11 アクアビル 201 (株)アドバタイズ TopEye 編集部宛
E-mail: topeye@nikon.com
FAX (03)5148-0566

※フォトフォトサロン応募の宛先とは異なります。ご注意ください。

次号の「TopEye」(No.285)は 2月22日発行予定です。 何とぞご了承ください。

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com
TEL: 03-6718-3020